

教職支援室便り

4 月 号
平成 26 年 4 月 11 日 (金)

文責：教職支援室 山本 寛 幸
☎ 0985-20-4808

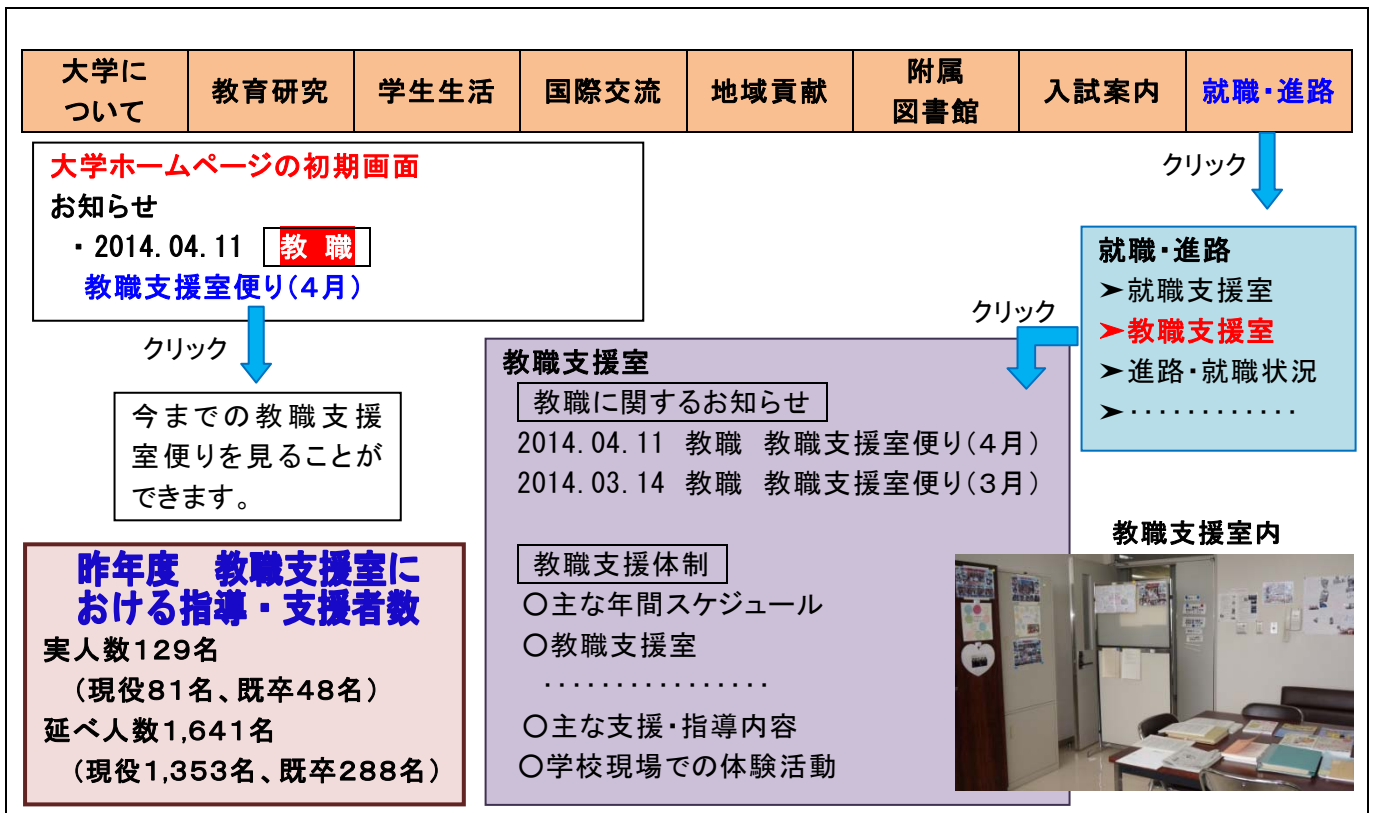


『先生になりたい』 その夢を全力で支援します。

教職支援室の山本です。

満開だった桜に若々しい青葉が繁り、新しい年度を迎えました。入学式、オリエンテーション、ガイダンスも終え、学内に活気が戻り、新入生の初々しい姿が見られるようになりました。

昨年の 4 月から月 1 回、「教職支援室便り」を発行していますが、今年度も毎月第 2 週の金曜日発行を目途に頑張っていきたいと思えます。教職支援室便りでは、**教員採用選考試験に関する情報**や**選考試験に向けて頑張っている学生・既卒者の様子等**をお知らせします。また、「**教職支援の全体像**」や「**これまでの教職支援室便り**」につきましては、下記の手順で宮崎公立大学のホームページからご覧ください。



本学卒業生 11 名 公立学校正教員に！！

現役 6 名が 9 自治体に合格 臨時講師等希望者 現役 7 名全員採用

4 月 1 日 (火)、本学卒業生 11 名が公立学校の新規採用教員として教壇に立ちました。平成 25 年に実施された公立学校教員採用選考試験の合格者は、下記の通りです。競争率が高い中、現役生 6 名が 9 自治体に合格しました。

また、今回、採用選考試験に合格できず公立学校の臨時・非常勤講師を希望した現役 7 名全員が面接試験等に合格し、採用が決定しました。中には、宮崎県内の 3 名の中学校校長から、「是非、本学の臨時講師に公立大生を採用したいので紹介下さい」と有難い電話をいただきました。

○ 11名(延べ16名) = 現役6名(延べ9名) + 既卒5名(延べ7名)

※中学校英語12名 高等学校英語3名 中高英語1名

【現役】

宮崎県中英1名、宮崎県高英1名、大分県中英1名、福岡市中英1名、愛媛県高英1名、愛知県高英1名、神奈川県中英2名、東京都中高英1名、

【既卒】

大分県中英2名、福岡市中英1名、高知県中英1名、山口県中英1名、鳥取県中英1名、千葉県中英1名

※既卒者については把握分のみ。臨時的任用講師・非常勤講師は含まない。

◀私立学校▶

3名 = 現役1名 + 既卒2名

都道府県教育委員会 「教員募集案内」 配布開始

4月になると、各都道府県教育委員会が右のような「教員募集案内」を配布します。この「教員募集案内」には、下記の内容が掲載されています。

- ・ 目指す教師像 ・ 教育施策 ・ 先輩からのメッセージ
- ・ 教員採用に係るQ & A ・ 平成26年度選考試験の受験者数等
- ・ 新規採用者の給与 ・ 実施要項配布案内 など

※募集案内は、各都道府県教育委員会のホームページからダウンロードできます。



宮崎県公立学校教員募集案内「先輩からのメッセージ」に 本学卒業生「高原中学校 宮崎卓也先生」が寄稿

中学校



高原町立高原中学校
教諭 宮崎 卓也
教科:英語(平成25年度採用)

今の私の在り方は、中学校時代の影響を大いに受けています。私はそこで、素晴らしい先生方と出会い、勉強や部活動に真剣に取り組み、時には悩み、人として大きく成長できたと思います。

この3年間は私にとってとても大切な時間でした。この経験から、私も「教師」として中学生の大切な時間に関わりたいと思うようになりました。

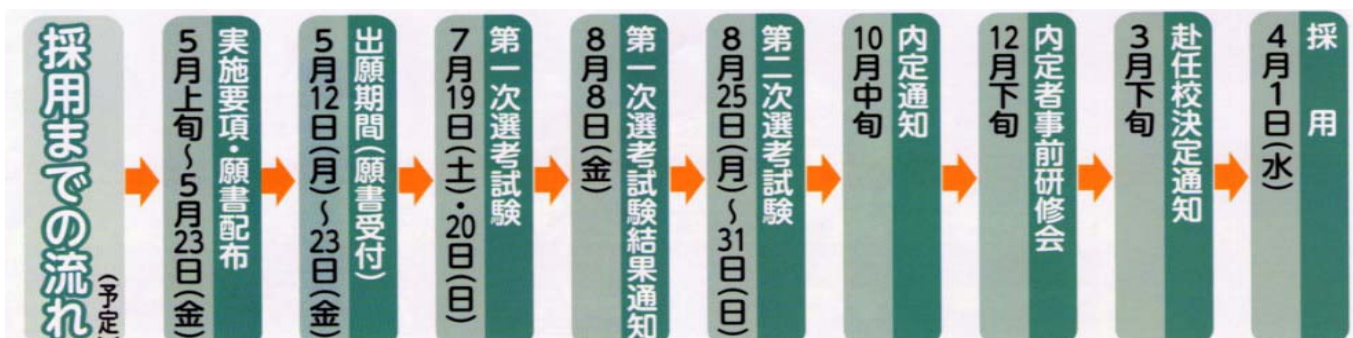
初めての教育現場では、右も左も分からず、失敗・反省を繰り返しながら試行錯誤する毎日です。そんな中、生徒がそれぞれの課題を克服するたびに「小さな感動」に立ち会い、共に喜び合える瞬間は何ものにも代え難い経験です。生徒が見せてくれる笑顔を見るために、私はこの仕事を選んだのだと実感します。

今は一日でも早く、一人前の教師になって生徒の可能性を広げ、笑顔であふれる学校をつくっていきたいと思っています。

これから教員を目指すみなさん、共に頑張りましょう。



採用までの流れ（宮崎県：平成26年度実施）



学校支援ボランティア 宮崎東中学校長から感謝状授与

山城健太郎さん（４年生）
吉住紀子さん（４年生）
日高愛理さん（４年生）
黒木れい奈さん（３年生）

平成21年度から、教員志望の学生を対象に宮崎西中学校等において、長期の英語学習アシスタント活動の場を提供しています。平成25年度は、宮崎東中学校長の強い要望もあり、3年生も含め4名が参加しました。

宮崎東中学校における活動は、週に1回（半日）、朝の会から給食指導まで、特定の英語教師と組んで授業等に参加し、生徒の支援に当たるものです。

4人の実績を高く評価していただき、2月27日（木）、宮崎東中学校校長室において、学校長から4名の学生に感謝状が授与されました。



長期間のアシスタント活動で最も印象的だった体験や事柄

やはり一番は、現役の中学生と触れ合えたことです。大学では、ほとんど交流する機会が無いので、とても良い経験になりました。その中でも最も印象に残っていることは、生徒から「毎日来てほしい」と言われたことです。年齢も近く話しやすかったからだとは思いますが、私を必要としてくれているという実感が湧き、とても嬉しかったことを覚えています。生徒に寄り添う大切さを改めて感じました。

（吉住紀子）



感謝状

あなたは学校支援員として本校生徒の学習支援や生徒指導上の課題解決等を積極的かつ献身的に取り組み 本校教育活動の充実並びに生徒の学力伸長及び健全育成に多大な貢献をしてくださりました。

よってここにその功績をたたえ 心から感謝の意を表します。

「別室登校生徒への支援」大宮中学校長からも感謝状授与

平成21年4月、大宮中学校長から中学生と年齢の近い本学生に別室登校生徒の支援を行って欲しい旨の依頼があり、教職課程を履修している3年生で年間を通して別室登校生徒の支援を行える学生を募って支援活動に当たっています。

平成25年度は9名の学生が、5月の連休明けから約1年間、空き時間を利用して、別室登校生徒の支援に当たってきました。3月末、大宮中学校長から学生に感謝状が授与されました。

「宮崎県いじめ防止基本方針」策定 教職教養必出！

平成26年2月10日、宮崎県は「いじめ防止対策推進法第12条」に基づき、いじめの防止対策を総合的かつ効果的に推進するための「宮崎県いじめ防止基本方針」を策定しました。4月1日から運用しています。基本方針には、「いじめは深刻な人権侵害」と位置付け、未然防止や早期発見、対処の方策を記載しています。また、アンケート調査や教育相談を実施することなどを盛り込んでいます。

この夏の第一次選考試験の教職教養に、必ず、この「いじめ防止対策推進法」及び各県の「いじめ防止基本方針」から出題されると思います。また、教員志望者は、教諭として教壇に立った場合、当然、これらの内容は理解して、いじめの問題に対応しなければなりませんので、しっかり勉強しておく必要があります。